

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52326	社会的養護Ⅱ The Nature of Social Care	山野 邦子	✓	専門	2	選択	2年前期
科目の概要							
様々な事情により保護、養育の必要な子ども及び家庭の支援を行う児童福祉施設での現状と課題、保育士の役割、養護問題、養護体系、について考察していくとともに、権利擁護の重要性を学習する。施設職員の経験から保育者に求められる倫理、資質を指導する。							
学修内容				到達目標			
① 社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理及び責務 ② 家庭養護の現状と課題(里親制度の特性及び実際) ③ 施設養護のプロセスの理解(施設養護のプロセスの現状とその問題点と求められる視点) ④ 保育士の基本的な社会的養護支援 (専門的技術) ⑤ こころと親子関係の支援				① 社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理と施設運営管理について具体的に説明することができる。 ② 家庭養護の課題、ファミリーホーム、里親制度の重要性、権利擁護について説明することができる。 ③ 養護施設の現状の問題点を捉えられ、プロセスの展開内容と留意点を計画、実践、評価、改善まで対応することができる。 ④ 保育士の基本的な社会的養護支援内容を理解し、個々に見合った生活プログラムを作成することができる。 ⑤ コミュニケーションを図るための意図的な関わりかた、児童のこころと親子関係の支援内容を説明することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	教科書、文献、参考資料を使って、積極的に課題に取り組むことができる					
	働きかけ力						
	実行力	それぞれの社会的養護の支援について知識・技術を授業毎にしっかり自己に取り込み続けることができる					
考え抜く力	課題発見力	新しい情報、データを見極め、整理することができる					
	計画力						
	創造力	自分と他者の考えをまとめ、課題に取り組み、問題解決に向けて計画案を作成することができる					
チームで働く力	発信力	参考資料、事例などを用い誰にでも分かり易く、伝わる方法を工夫し実践することができる					
	傾聴力	グループワークでメンバーの意見、考えを確認しながらまとめることができると共に、自分の思いをも取り込んでいくことができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
1年生で使用した「保育実践と社会的養護Ⅰ」と「保育士を目指す人の社会的養護Ⅱ」の教科書、文献、プリント資料							
他科目との関連、資格との関連							
他の科目との関連：社会的養護Ⅰ、児童家庭福祉、社会福祉総論、施設実習Ⅰ・Ⅱ、子どもと家庭福祉 資格との関係：保育士(保育士資格必須科目)							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加できる様、意見・質問を常に受け入れ解決しながら進められるよう疑問等を予習・復習より準備しておく 講義内容は各自のスタイルで分かり易く書き込んでいく 教科書、資料、ノートには日付を入れ整理しておく 				<ul style="list-style-type: none"> 養護施設の種類と内容の特殊性をしっかりと把握しておく。 社会的養護に関する記事、ニュース、コラムなどに関心に向け、まとめておく。 グループワークでの自分の役割を果たすことができるよう日ごろから積極的にクラスメイトとコミュニケーションを図る。 与えられた予習、復習内容はしっかりと押さえておく 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	①社会的養護の意義を踏まえ、今日までのプロセス、現状の求められるニーズと実際を知ることができる ②社会的養護施設の種類別特徴や専門的機能が理解できる ③子どもの養護と保育士という視点で基本的な養護支援、こころの支援、親子関係の支援が理解できる ④児童福祉施設における保育士の資質と倫理について理解することができる ⑤各種別にそった具体的な支援計画を作成することができる	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
	平常評価	小テスト		10	①	✓	①授業毎の内容の理解度を評価する ②自己の考えや思いを整理し、まとめることができる
					②	✓	
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	①グループワーク参加で積極的に自己の役割を果たし問題点に効果的な対応ができる ②他者の意見を傾聴し、自己の考えを他者に伝える発信力を評価する ③作品の自己評価を行い、反省点など次回に反映できているか評価する		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）課題、問題解決に対し自身の考え、必要な参考資料などをまとめ、積極的に参加できたか （実行力）計画や決めたこと、発信したことを実現させたか （課題発見力）各課題に対し問題を明らかにし取り組み、より良い策をさがすことができたか （創造力）一方向にとらわれず、工夫や挑戦ができたか （発信力）発信する内容の見極めができ、他者に正しく伝えることができたか （傾聴力）他者の意見を丁寧に聞くことができ、思いを汲み取る事ができたか （規律性）授業が円滑に進むよう規則やルール、マナー等守る事ができたか		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・達成目標の内容及び評価の重視する観点内容の理解に能力が達成しており、筆記試験、グループワーク及び発表、授業での取り組み姿勢、態度において優秀な評価であること ・筆記試験総合評価(90点以上をS) (80点以上90点未満をA) とする。	・達成目標の内容及び評価の重視する観点内容が概ね理解できており、小テスト、筆記試験、グループワーク及び発表、授業での取り組み姿勢、態度において評価(良)であること ・筆記試験総合評価(70点以上80点未満をB) (60点以上70点未満をC) とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	社会的養護の定義と理念と基本原則について	講義・DVD視聴	現在の社会的養護の定義、基本的な方向性、理念と原理を復習し自分の考えを発言することができる。	(予習) 養護問題について考えをまとめる	180	主体性 傾聴力
2	今日の養護問題と保育士 ・養護問題における保育士の役割 ・児童福祉施設の子どもたち	講義・DVD視聴	主な児童福祉施設の現状と課題をまとめることができる。 (児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、障がい児入所施設)	(復習) 社会的養護の定義、理念、基本原則について復習する (予習) 家庭養護の現状課題部分を確認する	180	主体性 傾聴力
3	家庭養護の現状と課題 ・里親制度の概要 ・小規模住居型児童養護事業(ファミリーホーム)の概要 ・「権利養護」の理念	講義・グループワーク及び発表のフィードバック	里親制度と小規模住居型児童養護事業の概要を理解することができる。「権利擁護」に繋がる具体的な評価内容を知ることができる。	(復習) 児童福祉施設で生活している子供たちの特徴とは (予習) 里親制度について確認する	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 規律性
4	施設養護のプロセスの理解 ・施設養護のプロセスの現状とその問題点 ・施設養護のプロセスに求められる視点	講義・DVD視聴	(復習) 権利擁護の理念とは何か (予習) 養護施設内のケアについて確認する	復習: 法律に基づいた施設ごとの目的や特徴について自分でワークシートを完成させる。 予習: 教科書にて学修範囲を確認する。	180	主体性 傾聴力
5	施設養護のプロセスの展開内容とその留意点 ・入所後の支援 ・施設内ケア ・退所後の支援	講義・グループワーク及び発表のフィードバック	(復習) 施設養護の現状問題点とは (予習) 保育士の役割について確認する	復習: ワークシートで不十分な項目について再度確認し、施設ごとの特徴を理解する。 予習: 教科書にて学修範囲を確認する。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
6	保育士の基本的な社会的養護支援 ・支援内容(日常生活支援、学習指導、余暇活動、家庭調整)	講義・デイリープラン計画作成	社会的養護施設における基本的な日常支援内容を知り具体的にまとめることができる。	(復習) 施設養護の内容と留意点とは何か (予習) 障がい児施設の概要を確認する	180	主体性 実行力 傾聴力
7	障がい児入所施設における基本的な支援 ・障がいのある人とノーマライゼーション	講義・DVD視聴	ノーマライゼーションの定義を理解し生活や権利などが保障された環境づくりに対する自己の考えや視点をまとめ他者に伝えることができる。	(復習) 保育士の基本的な社会的養護支援とは (予習) 生活プログラムについて確認する	180	主体性 傾聴力
8	障がいを持っている子どもの生活プログラム作成 ・衣、食、住、保健-衛生 ・余暇活動 ・養育支援	講義・生活プログラム作成	障害児入所施設での日常生活支援内容について具体的にまとめられ、生活プログラムの作成に取り組むことができる。	(復習) ノーマライゼーションとは (予習) 「養護施設に入所する子どものこころの中は」について考える	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	施設養護における、こころの支援 ・安全と安心の保証 ・個別化 ・愛着関係の形成への支援 ・施設生活と子ども	講義・グループワーク 及び発表のフィードバック	子どもの施設生活における、こころの混乱に対する具体的な援助方法が理解できる。	(復習) 障がいを持っている子どもの生活プログラムの要点とは (予習) コミュニケーションを図る効果とはについて考える	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
10	子どもとのコミュニケーション ・良い関係を築くためのコミュニケーション ・虐待を受けた子どもへの対応 ・今日的なこころの支援の課題	講義・ロールプレイング	コミュニケーションを図るための意図的な関わり方の方法を知ることができる。虐待を受けた子どもへのかかわり方の要点を知ることができる。	(復習) 「養護施設」における心の支援とは (予習) 教科書にて学習範囲をよく読み、親子支援の重要性とは何か考察する	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
11	親子関係の支援 ・親子関係の支援の姿勢 ・親子関係の調整における保育士の役割 ・親子関係の支援にあたって	講義・グループワーク 及び発表のフィードバック	今日的な親子関係の支援課題について知ることができ、チームアプローチの内容を理解することができる。	(復習) 虐待を受けた子どもの内容と対応とは (予習) 教科書にて学習内容を知る	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
12	地域・学校との関係づくり・整備の支援 ・地域社会や学校との関係づくりが必要な場面とは ・児童福祉施設と学校との連携	講義・グループワーク 及び発表のフィードバック	児童養護施設等の社会的養護施設が地域の子育て支援の役割を果たさなければならない理由を理解できる。	(復習) 親子支援にあたっての保育士の役割とは (予習) 自立支援計画作成のポイントとは何か確認する	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力
13	自己実現・自立への支援 ・自立とは何か 変化と概念 ・社会的養護における自立に向けた支援 ・自立支援計画の作成とポイント	講義・自立支援計画作成	精神的、生活、経済的それぞれの自立に向けた支援方法を理解する事ができ、自立支援計画の作成とポイントを把握することができる。	(復習) 児童福祉施設と学校との連携内容とは (予習) 教科書にて学習内容を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
14	児童福祉施設の運営管理 ・施設の運営及び組織形態 ・子どもたちを支援する職員とチームワーク ・施設運営と人材育成	講義・ポスター制作	施設の運営と組織形態について理解することができ、人事運営管理と人材育成の今日的な課題について知ることができる。	(復習) 社会的養護における自立に向けた支援内容とは (予習) 児童福祉施設における保育士の資質とは何か考える	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
15	児童福祉施設における保育士の資質と倫理 ・福祉施設のイメージと理解 ・支援者としての自分の資質を知る ・児童福祉施設における保育士の倫理	講義・まとめ	「社会的養護」の今後の課題について具体的にまとめることができると共に児童福祉施設における保育者の専門職の倫理が理解できる。	(復習) 1年間のまとめをおこない「保育士を目指す人の社会的養護」において疑問、質問、感想を発言できるようにする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力